〒745－0034　周南市御幸通２丁目22
防長本社　Ｅメール　bocho@chugoku－np.co.jp
中国新聞山口　Ｅメール　chugoku@c－spice.co.jp
情報サービス　ＵＲＬ　http://www.c－spice.co.jp
☎0834(33)5605　FAX0834(33)5610

ホッと通信

教育・文化

にしゃんたのやまぐち日記

⑥

学べる幸せかみしめて

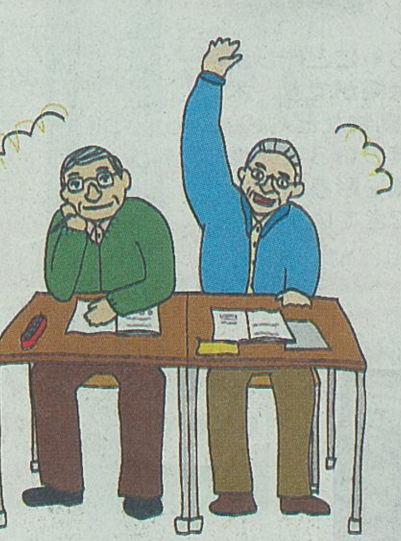
もう一つの図書館

僕は教員になったら、学生さんみんなの名前を覚えたいと思っていた。でも僕の講義は大学でも一番学生が多く、その考えを断念せざるを得なかった。でも、この二人に関しては違う。それは七十五歳の高山富士人さんと六十五歳の山本豊さんです。見た目はお若いですが、二人は社会人入試に合格して、一緒に勉強している仲間なんです。

教室には一番乗りで、最前列に座って講義を受ける。僕が教室に入ってくるなり、会釈しながら大きい声で挨拶（あいさつ）してくださる。そして講義中も手を一番多く挙げて質問もたいへん多いです。

僕や周りの学生は二人と仲良くしていても、なぜ大学生をやっているか誰も知らない。そこで、僕の講義時間を使って、それぞれが歩んできた人生を語ってほしいとお願いしました。二人は少し照れくさそうにしながらも満面笑みで承諾してくれました。

山本さんは戦時中に食べるものもなくて苦労し、子ども時分に重病を患ったこともあって勉学を断念しました。それからは万年筆に惚（ほ）れ込んで文房具屋さんを営んだり、保険業の仕事をしたりして子どもさんを立派に育てたそうです。



イラスト・石井彩子

高山さんは、お父さんの故郷が富士山のふもとであることから富士人と付けられた名前だそうです。でも、山とは無縁の海の上で四十年間過ごした。近くの港に来る船に魅せられて船長になりたいと思ったらしい。

その夢の実現には商船学校に行かないといけない。しかし、当時は食べることすらままならなかった。やがて小さな漁船で働くようになり、寝る間を惜しんで猛勉強し、最後は大きな船の船長にまで出世したそうです。

二人の若い時の写真を見せてもらったが、本当にハンサムで、すごくもてただろうなと思います。波瀾（はらん）万丈の人生を歩んできたのですけど、ともに中学しか卒業できなかったことが心に引っかかっていたそうです。学校に行きたいという夢をかなえたくて定時制高校を卒業し、うちの大学に入学されたのです。

この講義をきっかけに、二人は今まで以上に学生たちに囲まれています。一生懸命に生きること、夢をあきらめないことが人のためになることを教えてくれているようです。スリランカでは2%程度だが、日本は二人に一人は大学へ進むすごく恵まれている国だと思う。でも意外と、大学で学べる幸せをかみしめている人が少ない。

これからは、社会人学生が増えてきてほしい。その時こそ大学が一番大学らしくなると思います。年配の方から学ぶことが多いという意味で、スリランカでは一つの図書館に例えたりします。二人がいるから、学生はもちろん、僕もいつもよい意味の緊張感を持って講義に臨んでいます。

（県立大国際文化学部講師　J・A・T・D・にしゃんた）

大隊長、中隊長、小隊長、鵜の編隊は基地の辺を翔ぶ　弘兼　安雄
つくばいの水飲むらしき野鳥がため朝水くむ真冬のみずを　貴船喜代子
満席の来客前に中庭の紅葉ま赤に燃ゆる「山賊」　藤尾　鈴子
姫路城お菊の井戸に投げ銭の積り鎮もる今は昔と　叶井　幸子
「いきいき」とう中、高年の雑誌持ち冬の一日を姪訪ねくる　徳本　長子
厳冬を撓に南天実を付け何か良きことのある予感する　佐川紀美江
天上に仕舞ひ忘れし八日月雲の衣は茫と隠せり　細川　勝利
包帯をしたる右手の人差指河野裕子の会話に動く　音羽　晃

◆櫛浜短歌会（周南市）

折ふしに短歌のために辞書を引く解せぬ漢字のとけて嬉しも　兼田　昌子
吾が畑に育ちし大根しろじろと稲架にかけらる寒風の中　温品八重子
湯に浮かぶ黄色き柚子の肩にふれ心安らぐひと日の終り　小松セツ子
そのあとを継ぐる者なき果樹園の無農薬とふ蜜柑届きぬ　磯村　春子
寒波来しテント生活を憂いつつ世界の平和を祈る日々　浜田　ヨシ
肌を刺す寒風にマフラーを首に巻き家路を急ぐカラオケ帰り　河村　恵子
夕暮れて帰り来し時箱詰

草餅の重さを
マフラーの愛
たさよ
寒月や今宵老
れる
もの芽立つ野
せけり
漆黒の闇より
火
漉し餡のうぐ
着かな
瀬戸凪の一日
け
草餅や父母の
に生きて
四半分冬至南

川

◆光文芸川
のんびりと手
仕舞風呂
かずら橋落ち
竦む
勇気ある箸が
とる
最後だからも
ぐお酒
食事終え最後
ース
もったいない
母の癖
披露宴最後を
謝辞
人生のわだち
症
終巻は介護の
てある
終いの家決め
が咲く
消しゴムのよ
丸くなり
閉店の間際に
財布